

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 広島県 】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	福山市立樹徳小学校 全校児童520名 5年生 99名 / 6年生 72名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 行事名 (ドリーム・スクール・キャラバン『走力UP!教室』) ② その他 (児童朝会, 平成30年度広島県オリンピック・パラリンピック教育推進事業, ボランティア活動)
4 目標 (ねらい)	・オリンピックやパラリンピックについて興味をもつ。 ・学年や学校のためになることを進んで行う。 ・スポーツを楽しみ、スポーツに対する関心の向上を図る。
5 取組内容	【事前学習】 児童朝会（全校児童） 1 オリンピック・パラリンピックについて知ろう ①エンブレムに込められた思い ②シンボルマークに込められた思い ③マスコットキャラクター ④大会ビジョン ⑤「ようい、ドン! スクール」 ⑥オリンピック・パラリンピックの競技 ⑦市橋有里さんの紹介 2 アンケートの記入 市橋さんへの質問 オリンピック・パラリンピックについて知りたいこと 3 掲示物の作成



【ドリーム・スクール・キャラバン『走力UP!教室』】(6年生児童)

プロスプリントコーチ 荒川 優 氏

- ①ウォーミングアップ
- ②30m走(1回目)
- ③走力UP!ドリル
- ④30m走(2回目)



【平成30年度広島県刈刈ッ・ッ・ッ教育推進事業】

元女子マラソン 日本代表 市橋 有里 氏

- ①講演(全校児童)

「チャンスをつかむ3つの方法」

刈刈ッ・ッ・ッの意義や価値・経験談など

- ②実技(5年生児童)

マラソンのコツ

ストレッチ

腕振り, もも上げなど



【マラソン大会】

市橋さんに教えてもらった事を生かしてマラソンに取り組む。
同じペースで走り, 自己ベストを目指す。



【ボランティア活動】

年間を通して, 校内でのボランティア活動の推進(全校児童)

委員会・学年・学級からの呼びかけ

掃除, 整頓など

【事後学習】各クラス(全校児童)

振り返り(アンケート記入)



6 主な成果

【事前学習】

○オリンピック・パラリンピックについて, 紹介映像を見たことで興味や関心をもち, 「もっと知りたい」という思いが強くなった。

【ドリーム・スクール・キャラバン『走力UP!教室』】

○夢をもつこと, その夢に向かい努力することの大切さ, その努力を

	諦めることなく続けることで夢の実現に近づけることを教わった。 ○プログラムが「自ら考え、仮説を立てて自分自身で検証し、再考する」という内容であったため、子ども達が楽しく学ぶことができた。 ○プログラムに真剣に取り組み、諦めず頑張れば結果がついてくることを心と身体で理解し、成長と達成感を体感することができた。 【平成30年度広島県知的・身体的障害児教育推進事業】 ○講演では、「チャンスをつかむ3つの方法」として、市橋さんから生い立ちをもとに、「出会いを大切にすること、人よりも努力をし自分で考えて行動すること、周りの人に感謝すること」の大切さを教わった。 ○実技では、マラソンを走る前のストレッチや練習方法、同じペースで走ることが大事であることを教わった。マラソン大会前だったので、本番に生かすことができた。 【ボランティア活動】 ○トイレのスリッパを揃えたり、よごれている所を掃除したり、本を整頓したりするなど、自分から気付いて行動する児童が増えた。 【事後アンケートより】 ○2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に対する理解・関心が高まった児童・・・95% ○スポーツをすることで、自分で考えて行動できたり、親しい友達をつくったりすることができると思う児童・・・94%
7実践において工夫した点 (事業の特色)	○オリンピック・パラリンピックへの興味をもたせるために、内容をクイズ形式にしたり、映像を活用したりした。 ○プロのコーチやオリンピックの話聞き、実技を教えてもらうことを通して、スポーツへの意識と体力を向上させた。 ○ボランティア活動を1年通して取り組むことで、ボランティアの意義を教え、児童の主体性を育成した。
8主な課題等	○オリンピック・パラリンピックについて児童が疑問に思っていることを知る機会が少ない。 ○授業の中でオリンピック・パラリンピックについて学ぶ機会が少ない。
9来年度以降の実施予定	○オリンピック・パラリンピックについて授業の中で話題にしたり、掲示物を充実させたりすることで知る機会を増やしていく。